学校番号	T3009

令和８年度　(学)教養科

教科	(学)教養	科目	(学)基礎学習A	単位数	1単位	年次	1～4年次
使用教科書							
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は始業前に１５分間を週に３回行います。そのため、まずは時間に遅れることのないように気を付けましょう。内容は一人ひとりの習熟度に応じたプリントを継続反復して行います。それぞれの苦手分野としっかり向き合い弱点克服に努めましょう。

2　学習の到達目標

語彙力の育成及び基本的な計算力の養成に向けて、学習内容の学び直し（国語・数学を中心）を生徒一人ひとりの習熟度に応じた指導をし、日常生活でも頻繁に用いられる漢字・熟語または計算方法を扱うことで、わかる喜び・できる楽しさを感じられる資質・能力を次の通り育成することをめざす。
【知識及び技能】
日常生活でも必須の語彙や四則演算方法を理解し、それらを正しく活用する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
基本的な文章題などから問題の本質を読み解き、周囲の生徒同士で考えを共有できる力を育む。
【学びに向かう力、人間性等】
わかる問題を増やすことで学習意欲を高め、あらゆる教科に作用する粘り強い学習態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活でも必須の語彙や四則演算方法を理解し、それらを正しく活用する技能を身に付ける。	基本的な文章題などから問題の本質を読み解き、周囲の生徒同士で考えを共有できる力を育む。	わかる問題を増やすことで学習意欲を高め、あらゆる教科に作用する粘り強い学習態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名		学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
前期	オリエンテーション		趣旨・科目の説明を行う。				
	基礎的な問題演習	国語分野	**日常生活でも頻出レベルの漢字・熟語を中心に基本的な問題を生徒一人ひとりの習熟度に合わせて実施する。反復して行い確実な学力を養う。**	**a:日常的に用いられる熟語の正しい読みや漢字を理解し、活用することができる。 b:学習した熟語と関連付けて、日常での活用方法について考察することができる。 c:自ら苦手分野を分析し、適切な課題に主体的に取り組もうとしている。**	授業 プリント 小テスト	授業 プリント ワーク シート	授業 プリント 振り返り シート
		数学分野	**四則演算を中心に基本的な問題を生徒一人ひとりの習熟度に合わせて実施する。反復して行い確実な学力を養う。**	**a:四則演算を正確にできる。 b:学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる。 c:どのような技能を習得することが必要かを自ら判断し、適切な課題に主体的に取り組もうとしている。**			
後期	応用的な問題演習	国語分野	基礎的な漢字・熟語を反復しつつ、生徒一人ひとりの状況に合わせて読解や作文といった応用問題にも取り組ませていき、他教科への学習意欲も高めていく。	a:日常的に用いられる熟語の正しい読みや漢字を理解し、自由に活用することができる。 b:学習した熟語と関連付けて、日常での活用方法について深く考察することができる。 c:自ら苦手分野を分析し、適切な課題に主体的に取り組もうとしている。	授業 プリント 小テスト	授業 プリント ワーク シート	授業 プリント 振り返り シート
		数学分野	基礎的な四則演算を反復しつつ、生徒一人ひとりの状況に合わせて文章題などにも取り組ませていき、他教科への学習意欲も高めていく。	a:四則演算を素早く正確にできる。 b:学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に深く考察することができる。 c:どのような技能を習得することが必要かを自ら判断し、適切な課題に主体的に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度